



デイサービスで 演奏しました

楽狂老人

昨夏 老人ホームで、初めてのボランティア演奏をさせていただきました。

コロナ禍の中、ほぼ一年振りの開催だったそうです。

いきさつは、老人福祉の会社を経営する友人との「デイサービスで演奏しないか」という会話でした。「いつかはそんなこともねえー」と思ってた事だし、ここで尻込みするのも「歳がすたる」？ と、意を決しました。

1時間で、11曲の演奏・伴奏曲のセット・スピーカーの音量調節・曲の解説を行ったのですが、なんとかこなすことができました。

演奏曲と進行は別紙のとおりですが、参加者の(私もですが)青春時代昭和40～50年代の洋画の主題曲は、映画のシーンをテレビに映しながら演奏しました。それから、88オクリントイーストウッドの映画「運び屋」の主題曲を流して、「年寄りと思わないことが若さの秘訣だ」という、彼の言葉を問いかけました。

30人程の参加で、一曲ずつに拍手と、話に盛んにうなずいていただき、また帰りには「ひまわりは、思い出の深い曲です」等の、感想もいただきました。

老々介護ならぬ「老々福祉」とでも言う、ちょっと変わった、ボランティア風演奏会だったのでしょうか。

クリスマス会に、6回目のお声掛けをいただきました。